



市民病院

ハナちゃん通信

問合せ
市民病院管理課
☎(48)5050

ふれあい病院フェスティバルを開催します



毎年5月12日は「看護の日」です。近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ制定されました。

「看護の日」には、全国で関連行事が開催されます。市民病院では、21世紀の高齢社会を支えるため、看護師はじめ、さまざまな医療職が集まり、市民の皆さんに自分や家族の健康に関心を持ってもらえるようふれあい病院フェスティバルを開催します。

骨密度測定や理学療法士によるロコモチェック、歯科衛生士による口の中の健康チェック、認知症予防コーナー、医師や栄養士への健康相談コーナーなどを開設します。

参加は無料で予約も不要ですので、皆さんお誘い合わせのうえ、気軽にご参加ください。

ふれあい病院フェスティバル

とき 5月15日(水)9時～12時

ところ 市民病院

ゴールデンウィークの診療体制について

5月1日(水)の新天皇即位に伴い、今年のゴールデンウィークは10連休となりますが、市民病院では以下のとおり一部の日程で通常診療します。

通常診療日 4月30日(火)、5月2日(木)

なお、救急診療については連休期間中も対応します。

碧南の歴史へのいざない

問合せ
文化財課内市史資料
調査室 ☎(41)4566

No.59 鷲塚城主 水野忠重 (2)

戦国時代のころ、今川の勢力が徐々に尾張までおよび、織田側の水野信元と今川側の松平氏は代理戦争のように戦いました。忠重もほかの兄弟とともに信元に従い、家康の軍勢を相手に18歳のとき、石ヶ瀬川の戦いで初陣を飾りました。「信長公記」という本には、信長が初陣の忠重をほめたたえたと書かれています。

水野忠重の姉・お亀が嫁いだ鷲塚片山家のあった場所は、現在の荒子神明社の敷地でした。鷲塚片山家には、このころのことが書かれた覚書、系図、過去帳などが残されています。これら「片山家文書」によると、お亀の夫・遵通は、1560年の桶狭間合戦の3か月前に病気で亡くなってしまいました。さらに遵通の跡を継いだ弟の勝高は、桶狭間合戦で討死をしてしまいました。鷲塚片山家には、お亀と子どもの遵智が残されました。

一方、信長方の水野忠重は、いとこの水野太郎作清久らと一緒に戦っていました。太郎作は、忠重より3歳下で16歳でした。

水野一族を率いるのは、水野信元ですが、桶狭間合戦の後、忠重は兄の信元に対し不満を持つようになったと伝えられています。後に忠重の長男・勝成が書いた「水野勝成覚書」には、「せつ者の親は、兄の信元に何やら不足を申し、刈谷城を立ち退き、三河の鷲塚というところで牢人をしていた」と書かれています。



△信長が中世から近世への幕を開けたと表現する「近世の曙」像（名古屋市緑区有松町）